



<https://twitter.com/fctokyoofficial>



<http://line.me/ti/p/@fctokyo>



<https://www.instagram.com/fctokyoofficial>



<https://www.tiktok.com/@tokyodorompa>



<https://www.youtube.com/user/fctokyochannel>



<https://www.facebook.com/fctokyo>



<https://www.linkedin.com/company/fctokyo/>

<https://www.fctokyo.co.jp>

# F

# C



## ACTIVITY REPORT 2024

# TOKYO







# MANIFESTO SLOGAN

マニフェストとスローガン

千年の魂が宿る、歴史の街なみ。未来の姿が浮かび上がる、喧騒の都心。  
いろいろな表情を見せる東京の地を、ぼくたち、私たちは、前へ前へと進んでいく。  
ボールをつなぐ。前に。その先に。人から人へ、そして次の世代へ。  
原動力は、東京が放つ強烈なエネルギー。批判を恐れず、新しいことを試そう。  
国内の、世界の、あらゆる知識と経験を、この東京の地に集結させて。  
どんなことだって、必死でやるから、面白い。  
挑戦と試行錯誤が生み出すエンターテインメント。  
ピッチの上で、ピッチの外で。  
東京が熱狂。



## TOP MESSAGE ごあいさつ

# 東京が熱狂

こんにちは。FC東京の代表の川岸です。  
日頃からのファン・サポーター、ホームタウン、パートナー、FC東京に関わっていただいているみなさまの応援、ご支援に誠に感謝いたします。お陰様で、FC東京がJリーグに参入してから、一步一步歩みを進め、2023年に25周年を迎え、新たな4半世紀の扉を開けることができました。

2024シーズンは、コロナ禍前の来場者数を超え、平均来場者数約33,000人、延べ63万人の方にスタジアムにお越しいただきました。Jリーグの中でも2番目の数字であり、クラブにとっても大きな一歩となりました。また、国立競技場では、4試合を実施し、その中でクラブ史上最多の約58,000人に達する試合もありました。多くのファン・サポーターの方に支えられたシーズンでした。私たちFC東京のホームスタジアムである味の素スタジアムを中心としながら、より多くの東京都民にFC東京の試合にお越しいただけるよう、これからも国立競技場での試合開催を定期的に行ってまいります。

FC東京は、東京都をホームタウンとして活動をしてまいりました。昨年東京都と締結したワイドコラボ協定を軸に、東京都において、スポーツやサッカーに限らず、様々な取り組みを行っております。その中でも、出資6市(府中市、三鷹市、調布市、

小平市、西東京市、小金井市)からは創立期より力強いご支援をいただいております。また、味の素スタジアムがある京王沿線を中心に、出資6市のエリアを越えて、活動エリアとその内容は着実に広げることが実現しており、サッカースクールの活動も含めると、12区10市に広がっております。私たちFC東京は、ホームタウン東京都において、より広く深く活動し、都民のみなさまに、また地域に貢献できるよう一層努力をしてまいります。

FC東京の活動において、パートナーの存在は欠かせません。FC東京の母体となった東京ガス様を始めとした関係先企業の長年にわたるサポートにより、このクラブの基礎が創り上げられました。そのサポートは今も継続いただいております。感謝の念に堪えません。また、90社近くのパートナーに多方面に渡りサポートをいただいております。私たちFC東京が、パートナーのそれぞれのニーズや課題に着目し、パートナーのみなさまとともにそれに組みたいと考えております。

これまで、ホームタウンやパートナーとともに様々な活動に取り組んでまいりましたが、その活動の目的や内容もアップデートが必要です。そこで2025年以降に向けて、SOCIAL STATEMENT「わたしたちのくらしの未来につながるゴール

を」を発表いたしました。誰もが住みやすく、生きがいに満ちた、より良い世の中を目指し、ファン・サポーター、ホームタウンやパートナーと連携し、様々な活動を推進、またはサポートをしてまいります。以前より取り組んでいる「NO PLANET, NO TOKYO」や昨年からスタートした「TOKYO SOCIAL COLLABORATION」等の活動を含め、このSOCIAL STATEMENTに沿って、様々な活動に取り組んでまいります。

改めまして、ファン・サポーター、ホームタウン、パートナー、FC東京に関わるみなさまの応援、ご支援に感謝を申し上げます。その感謝をお返すするためにも、念願のJリーグ優勝に向けて、クラブ一丸となって取り組んでまいります。FC東京を引き続きよろしくお願いいたします。

東京フットボールクラブ株式会社  
代表取締役社長

川岸 滋也



## MISSION ミッション

FC東京は首都・東京をホームタウンとして、「スポーツの力」を東京中に、そして日本中に届け、日本を代表するクラブを目指します。

- 1 フットボールを中心に、東京のスポーツ人口の拡大に寄与し、誰もが日常的にスポーツに親しみ、楽しむことのできる社会を実現していきます。
- 2 スポーツの魅力を人々に伝え、その心を動かすことによって、一人一人の毎日が少しずつ豊かに彩られる世の中を目指していきます。
- 3 クラブが発信するスポーツの魅力が、人と人、想いと想いを繋ぐ媒介となり、人や地域のネットワークに新たな連鎖を生み出し、コミュニティのさらなる発展に寄与していきます。
- 4 社会や地域と連携・協力を図り、未来の担い手である青少年たちがスポーツを通じてその可能性を広げることができる世界を創造していきます。

## VALUE バリュー

### 最前線

仕掛ければ、なにかが起きる。首都・東京の名を背負うに相応しいクラブであるためにFC東京は常に自ら動き、仕掛けていくことを意識します。能動的に動き、新しい道を切り拓く。人とアイデアが集うこの東京から、大きなエネルギーを放ちます。

### 多様性

歴史と近未来が隣接し、伝統文化と最新テクノロジーが共存する東京。全国各地、そして世界各地から人々が行き交うクロスロード。その東京を舞台に、FC東京は多様性を誇るクラブであり続けます。先入観にとらわれず様々な分野から卓越したものを集め、その化学反応によって、あっと驚くエンターテインメントを生み出します。

### クリエイティビティ

変容する未来にも、トッランナーであるために。既存概念にとらわれない発想力で、FC東京は進化を続けます。リスクを恐れず、批判を恐れず、大胆に新しいことを試し続けること。そのピッチの上で、誰も見たことのないものが生まれるように。

### 可能性

人口減少が続く日本にあって、東京は年少人口が増え続けている数少ない地域のひとつです。休むことなく成長を続ける東京。その潜在力は無限大。常に新しい才能が生まれ、首都を牽引する原動力となっていく。FC東京もまた、現状に満足することなく無限の未来を模索します。明日の担い手たちが夢を見続けられる世の中のために。

## COMPANY PROFILE 会社概要

会社名	東京フットボールクラブ株式会社 TOKYO FOOTBALL CLUB Co., Ltd.
創立	1998年10月1日(都民の日)
主な事業	1. プロサッカーチーム「FC東京」(1999年よりJリーグディビジョン2に加盟)の運営 2. サッカースクールおよびサッカーの普及活動 3. チームのオリジナルグッズの製作・販売
資本金	1,762,000,000円
総発行株式数	46,740株
株主	計339団体
主な株主	(株)MIXI、東京ガス(株)、三菱商事(株)、ENEOS(株)、清水建設(株)、(株)さらばし銀行、三井物産(株)、東京メトロポリタンテレビジョン(株)、東京電力ホールディングス(株)、(株)ファミリーマート、横河電機(株)、(株)プロ・フィットスポーツ、(株)みずほ銀行

※2024年11月30日時点



# 青赤軍団の躍動が 東京を熱狂させる



## TITLES

主な獲得タイトル

- ▶ 2004 Jリーグヤマザキナビスコカップ 優勝
- ▶ 2009 Jリーグヤマザキナビスコカップ 優勝
- ▶ スルガ銀行チャンピオンシップ2010 優勝
- ▶ 2011 Jリーグディビジョン2 優勝
- ▶ 第91回 天皇杯全日本サッカー選手権大会 優勝
- ▶ 2020 JリーグYBCルヴァンカップ 優勝

## クラブの歴史

- 1935** 前身である東京ガスサッカー部(のちに東京ガスフットボールクラブ)創部。
- 1986** 東京都リーグより関東リーグに昇格。
- 1991** 全国地域リーグ決勝大会で優勝。JSL(日本サッカーリーグ)2部へ昇格を果たす。
- 1992** JFL(ジャパンフットボールリーグ)に加入。
- 1997** JFL準優勝。天皇杯でJリーグ勢を3連破し、準決勝へ進出。
- 1998** JFL初優勝。Jリーグディビジョン2(J2リーグ)に参入決定。10月1日「都民の日」に東京フットボールクラブ株式会社を設立、東京初のJリーグクラブが誕生。
- 1999** チーム名を「FC東京」に改称。J2リーグ戦では2位の成績で、1シーズンでJ1リーグ昇格を決める。ヤマザキナビスコカップベスト4進出。
- 2000** J1リーグ初年度は1stステージ6位、2ndステージ8位の総合7位。
- 2001** 東京スタジアム(現 味の素スタジアム)開業。
- 2003** レアル マドリッド(スペイン)とクラブ初の国際親善試合を開催。
- 2004** ヤマザキナビスコカップ決勝で浦和レッズにPK戦の末勝利し、クラブ初タイトル獲得。
- 2008** クラブ設立10周年を迎える。
- 2009** ヤマザキナビスコカップ決勝で川崎フロンターレに勝利して2度目の優勝。チームマスコット「東京ドロンパ」が初登場。
- 2010** スルガ銀行チャンピオンシップでLDUキト(エクアドル)に勝利しタイトル獲得。J1リーグ最終節で京都サンガF.C.に敗れ16位となり、J2リーグ降格。Jリーグアウォーズにて「最優秀育成クラブ賞」を初受賞。
- 2011** J2リーグで優勝、1年でのJ1リーグ復帰を果たす。「フェアプレー賞」を受賞。第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会決勝で京都サンガF.C.に勝利して初優勝。AFCチャンピオンズリーグ(ACL)出場権獲得。アジアへの扉を開く。
- 2012** FUJI XEROX SUPER CUP 2012に初出場。初めてのアジアへのチャレンジとなったACLはラウンド16に進出も広州恒大(中国)に惜敗。J1リーグ戦においてクラブ新記録となる14試合無敗を達成。
- 2015** J1リーグが2ステージ制を導入。J1リーグ1stステージ2位、2ndステージ6位、年間4位。ACLプレーオフ出場権を獲得。
- 2016** ACLはラウンド16進出も上海上港(中国)にアウェイゴール差で惜敗。J1リーグ1stステージ9位、2ndステージ9位、年間9位。FC東京U-23を編成してJ3リーグに参入。初年度10位。
- 2017** J1リーグ13位、J3リーグ11位。ルヴァンカップベスト8。Jリーグアウォーズにて2度目の受賞となる「最優秀育成クラブ賞」および「フェアプレー賞」を受賞。
- 2018** クラブ設立20周年。J1リーグ6位、J3リーグ14位。天皇杯ラウンド16進出。J1リーグ、J3リーグで「フェアプレー賞」を受賞。
- 2019** J1リーグ 2位、J3リーグ 16位、ルヴァンカップ 準々決勝進出。ACLプレーオフ出場権を獲得。FC東京が「フェアプレー賞高宮杯」を初受賞、FC東京U-23が「フェアプレー賞(J3)」を受賞。
- 2020** YBCルヴァンカップ決勝で柏レイソルに勝利し、11年ぶり3度目の優勝を果たす。J1リーグ 6位、ACL ラウンド16進出。
- 2021** J1リーグ 9位、ルヴァンカップ ベスト4。
- 2022** J1リーグ6位。クラブJ1リーグ通算1,000ゴールを達成
- 2023** クラブ設立25周年。J1リーグ11位、ルヴァンカップ準々決勝進出、天皇杯ラウンド16進出。2024シーズンからのクラブエンブレムの変更を発表。3度目となる「最優秀育成クラブ賞」を受賞。(最多タイ)
- 2024** 単一試合ではクラブ史上最多となる57,885人の入場者数を国立競技場にて記録。年間入場者数は過去最高となる631,273人を達成4度目となる「最優秀育成クラブ賞」を受賞。(Jリーグクラブとして最多)

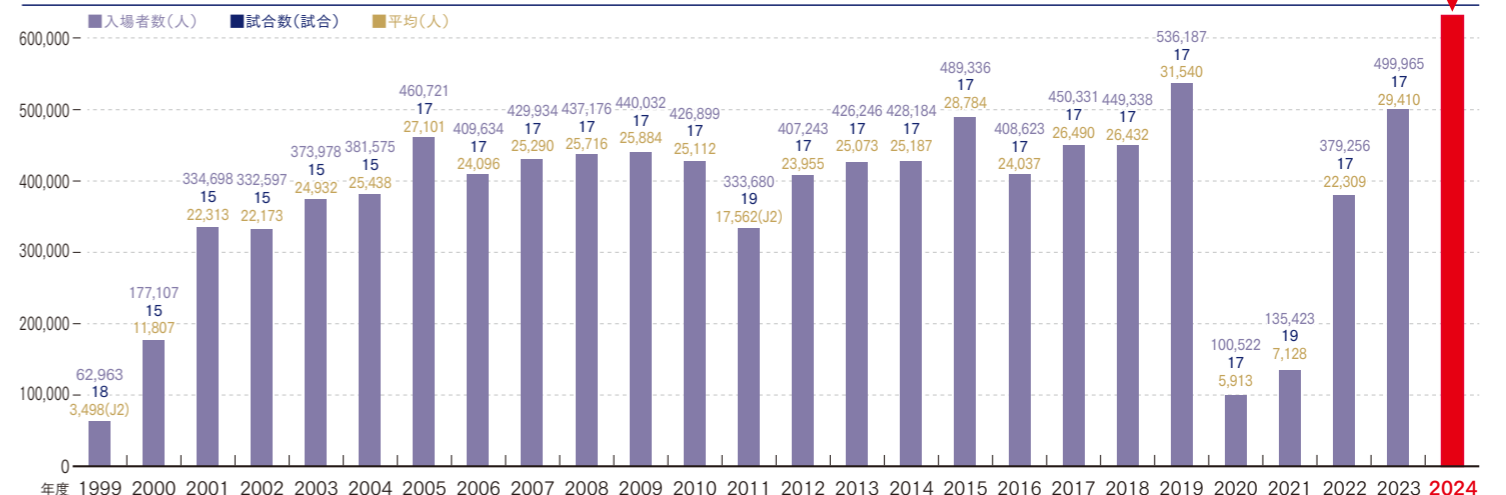


### チームマスコット TEAM MASCOT

#### 「東京ドロンパ」

1998年10月1日、港区麻布狸穴町(まみあなちょう)で生まれる。六本木と東京タワーのほぼ真ん中に位置する狸穴町、いわゆる生粋の都会っ子である。遊び場はもちろん噴水の素敵な狸穴公園。知らぬ間にパッと現れ、ドロンといなくなることから、いつしか仲間から「東京ドロンパ」と呼ばれるようになった。

### 来場者数推移 VISITORS DATA





FC東京のホームタウンは「東京都」全域です。スタジアムを中心として株主としてもご支援いただいている6市(府中市・三鷹市・調布市・小平市・西東京市・小金井市)をはじめ、23区、そして島しょ部まで含めた都内全域でさまざまな活動をしています。

# HOME



## 事務所 OFFICE

**調布事務所**  
東京都調布市下石原1-2-3 TSOビル TEL.042-444-2630

**深川グランド** U-15深川  
東京都江東区猿江2-15-10

**小平グランド** トップチーム U-18  
東京都小平市大沼町3-14-1 東京ガス武蔵野苑内

U-15むさし



## スタジアム STADIUM

ホームスタジアムである「味の素スタジアム」のほか、国立競技場でのホームゲームも開催しています。



**味の素スタジアム**  
【住 所】調布市西町376-3  
【収容人数】48,013人

**国立競技場**  
【住 所】新宿区霞ヶ丘町10-1  
【収容人数】67,750人



**FC TOKYO PARK 府中**

**FC東京パーク府中**  
府中市宮町1-41-2 ミッテン府中屋上  
TEL.042-314-1380



**TAC杉並区上井草スポーツセンター**  
杉並区上井草 3-34-1  
TEL.03-3390-5707



**TAC杉並区妙正寺体育館**  
杉並区清水3-20-12  
TEL.03-3399-4224



**TAC杉並区永福体育館**  
杉並区永福1-7-6  
TEL.03-3328-3146



**小金井市総合体育館**  
小金井市関野町1-13-1  
TEL.042-386-2120



**小金井市栗山公園健康運動センター**  
小金井市中町2-21-1  
TEL.042-382-1001



**杉並区下高井戸運動場/区民集会所**  
杉並区下高井戸3-26-1  
TEL.03-5374-6191(運動場)  
03-5374-6192(集会所)



**杉並区松ノ木運動場**  
杉並区松ノ木1-3-22  
TEL.03-3311-7410

## 指定管理施設

DESIGNATED MANAGEMENT FACILITY

FC東京ではより深く地域社会と連携して、スポーツを通じて都民の心身の健康に貢献するために、自治体に選定された「指定管理者」として都内の施設の管理に携わっています。

## TOKYO 東京都との連携



HOMETOWN

2023年3月、ホームタウンである東京都と包括連携協定「ワイドコラボ協定」を締結しました。本協定はスポーツ分野に限らず、東京都が複数の政策分野にまたがって包括的・横断的な連携・協力を行うことにより地域社会の発展と都民サービスの更なる向上を図るためのもので、FC東京は全体では13例目、スポーツチームとしては初の締結となりました。協定締結をきっかけに、FC東京の4つのバリュー「最前線」「クリエイティビティ」「多様性」「可能性」を活かして、首都・東京のさらなる発展と都民サービスの向上に協力しています。



### 環境・教育

東京都が進めているHTT(電力をへらす・つくる・ためる)に賛同し省エネ・節電の啓発活動を実施。コラボノベルティを制作し、スタジアムのPRブースや小学校での授業連携などを実施しました。



### 生活・多文化共生



すべての人々にとって暮らしやすい、やさしい東京を目指してボランティア活動や「やさしい日本語」の普及啓発を実施。また、ウクライナから都内に避難されている方々をホームゲームに招待し2試合で100名以上の方々に試合観戦やピッチ練習見学を楽しんでいただきました。



### 健康・福祉



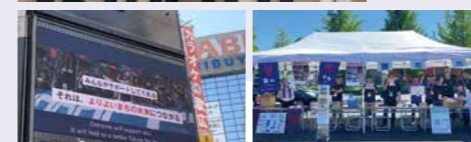
ピンクリボンキャンペーンなどのがん検診や献血の呼びかけをおこない健康を考えるきっかけとなるPR活動をおこないました。福祉分野においても、共生社会の実現を考える心のバリアフリー、児童虐待防止月間に合わせたオンラインリボンキャンペーンなどを介して多くの方々に知ってもらう環境を整えました。



### 自治体との連携



自治体とはシーズンを通して連携し、ホームゲームでの地域PRブース、地域住民を対象にした観戦招待企画、事業啓発における選手出演等の協力を実施。シーズン終了後には表敬訪問し日頃の支援への感謝とスポーツに限らず様々な分野での今後の連携を確認しました。



### 街との連携



街のイベントに東京ドロンプが参加したり、キックターゲットなどのアトラクションを実施するなどして子どもたちに楽しんでいただきました。また都内各地では約4,500本の青赤フラッグが商店街などに掲げられ、商店街一丸となって応援いただくなど、様々な地域団体と連携しています。



## ACTIVITIES 地域との連携

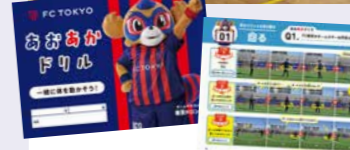
HOMETOWN

FC東京のホームタウン活動では、老若男女問わずひとりでも多くの地域のみなさまが笑顔になる活動を数多く実施しています。これら地域での活動は自治体、地元の商工会、JCと呼ばれる青年会議所、商店会、そのほかさまざまな地域の団体や個人と連携しておこなっており、活動内容についても地元のお祭りやイベントへの参加、商店街の街路へのフラッグ掲出、選手が各小学校に訪問する「小学校訪問」等多様な地域連携活動を実施しています。



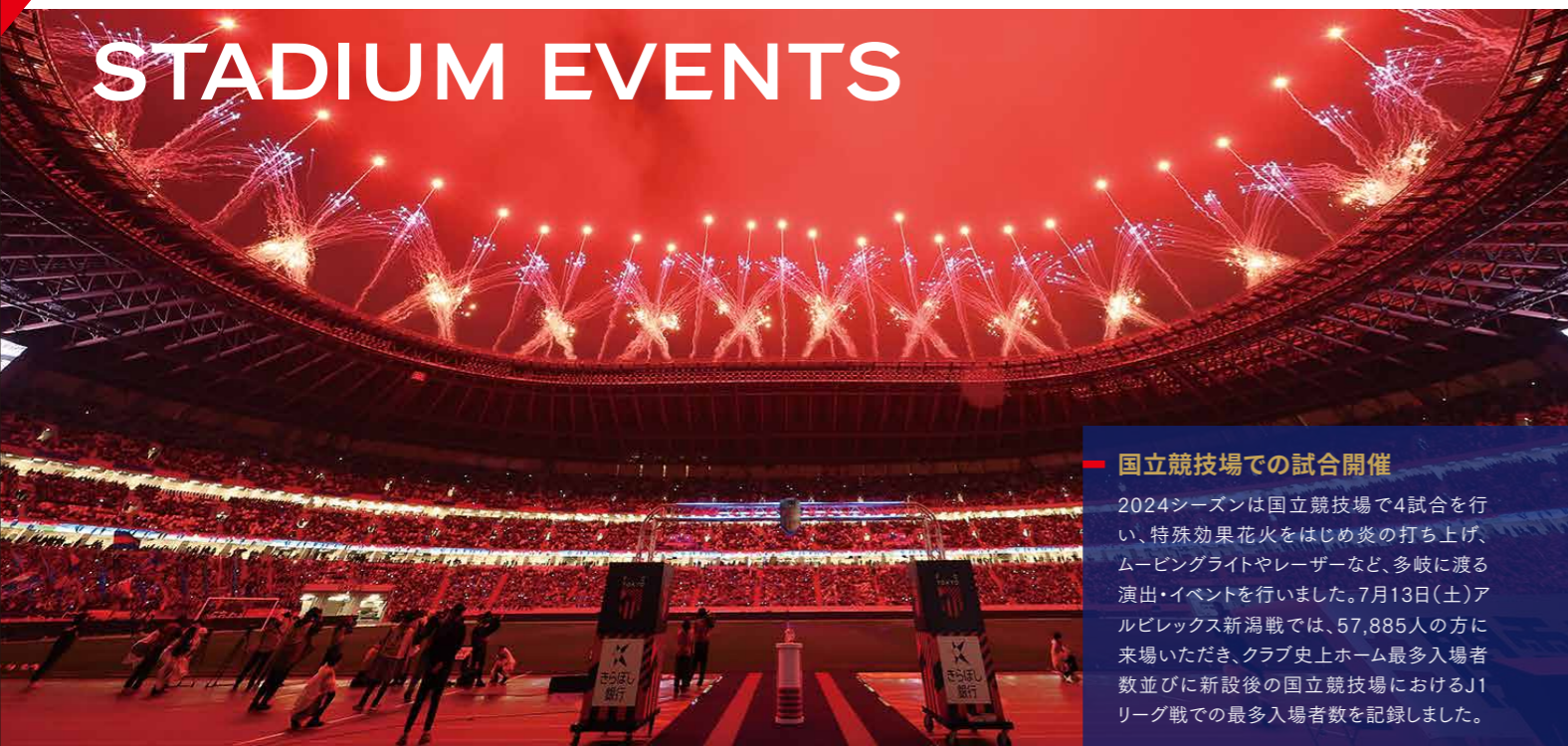
### 教育現場との連携

FC東京選手会が企画し実施している小学校訪問では今年も都内10市区の学校に訪問。たくさんのお子さんとふれあいました。また、小学校の体育教材となる2024年度版「あおあかドリル」をクラブオフィシャルパートナーである帝京大学様のご協力により今年も作成。都内の約150の公立小学校、15,000人を超える小学1年生の児童に配布いたしました。





# STADIUM EVENTS



## 国立競技場での試合開催

2024シーズンは国立競技場で4試合を行い、特殊効果花火をはじめ炎の打ち上げ、ムービングライトやレーザーなど、多岐に渡る演出・イベントを行いました。7月13日(土)アルビレックス新潟戦では、57,885人の方に来場いただき、クラブ史上ホーム最多入場者数並びに新設後の国立競技場におけるJ1リーグ戦での最多入場者数を記録しました。

## ゲストの来場

2024シーズンのホーム開幕戦には、水曜日のカンパネラさんに来場いただきミニライブを行っていただきました。6月16日(日)ジュビロ磐田戦では、創立50周年を迎えるソニー・ミュージックアーティスツよりハリウッドザコシショウさん、コウメタ夫さん、SAKURAIさんに来場いただき、お笑いライブやハーフタイムの周回を行っていただきました。そのほかにも、7月13日(土)アルビレックス新潟戦では東京都出身のアーティスト木村カエラさんに来場いただき試合前にライブを行っていただくなど、多くのゲストの方にご協力いただきスタジアムを盛り上げていただきました。

## 東京ドロンパのパフォーマンス

5月26日(日)ガンバ大阪戦ではクラブマスコットの東京ドロンパと仲間たちによるダンスパフォーマンスを実施しました。そのほかにも10月5日(土)サガン鳥栖戦では、TOKYO DOROMPA BIRTHDAY EVENTを開催し、めちゃコミック様にご協賛いただいたバスデューステージやエイジック様のチアパフォーマンスチームとのダンスパフォーマンスを行いました。

## 青赤パークを活用したイベント

4月21日(日)FC町田ゼルビア戦では、参加型の子ども合戦ゲームを実施。ブラジルフェスタや青赤夏祭りなど、今年も青赤パークではファン・サポーターのみならず家族で楽しめる塗り絵などのワークショップ、たくさんの遊具を設置した「TOKYO FAMILY DAY」、2人のDJが登場し一日を音楽で彩った「AO-AKA TOKYO DISCO」など、多くの方々に喜んでいただけるイベントを開催しました。

## FC TOKYO FAN COMMUNICATION DAY presented by JOYSOUND

10月13日(日)にファン・サポーターが選手とふれあうことができるイベントを味の素スタジアムにて開催しました。SOCIO・OFFICIAL MEMBERSHIPの会員を中心とした4,500名を超えるファン・サポーターのみならずご来場いただき、サイン会や選手とのふれあいサッカーなどを通して、たくさんのコミュニケーションをとることができました。また、JOYSOUNDのカラオケ機能を使った選手カラオケ企画を実施し、選手による歌唱が披露されるなど、たくさんの方々に楽しんでいただきました。

# AO-AKA PARK 青赤パーク STADIUM GOURMET

## 青赤パークでの食フェス開催

青赤パークでは、チケットを持っていない方も参加できる楽しいイベントや催しを多数実施しました。毎試合、飲食をテーマにしたイベントを実施し、5月には「グルメ強化月間」として、麺・チーズ・関西とそれぞれ異なるグルメをテーマにしたイベントを開催しました。夏季の2試合では、一昨年から実施し好評のBEER FESTIVALを開催し、どの試合に来場しても楽しむことができる空間づくりを創出しました。また、青赤パークに出店した店舗を対象にした投票企画「スタグル東京グランプリ」では、みなさまから選出されたスタジアムグルメを最終節に出店し、来場されたみなさまを食でおもてなしをしました。



## オリジナルグルメの開発/フードデリバリー

FC東京でしか味わうことのできない本格的なオリジナルグルメを多数展開しました。今シーズンから、お手軽に食べられるドーナツ「東京ドーナツ」を販売し、毎試合230食以上を売り上げるグルメの新定番となりました。また、見た目も楽しい「FC東京チョコ」はスタグル東京グランプリ「見た目部門」で1位を獲得し、子どもから大人まで楽しめるグルメとして多くの方に楽しんでいただきました。ほかにも、東京ドロンパの顔や尻尾に模した「東京ドロンパアイス」や「東京ドロンパのベビーカステラ」など、特別なグルメを展開しました。



## 選手コラボグルメ

オフィシャルグルメ売店「FC TOKYO FOOD FACTORY」では、2024シーズンから選手コラボグルメの販売をスタート。選手本人と何度もやり取りを重ね、こだわりがたくさん詰まったコラボグルメを展開しました。選手の創意工夫を凝らしたグルメは、FC東京のホームゲームでしか食べることができない特別なグルメとなりました。



## 子ども向け アトラクションの設置

国内初の体験型の新遊具「GoShooting!!」の開発や、夏場のウォータースライダー、パブルマシーン、芝生エリアなど、小さなお子様にも楽しんでいただける空間を創出いたしました。



## ORIGINAL BEER

### 熱狂の エール GOLDEN ALE

FC TOKYO

FC TOKYO

## 都内の飲食店での展開

2019シーズンからみなさまに親しまれている「FC TOKYO BEER in AO-AKA PARK」に次ぐ第2弾として、クラブオリジナルビール「FC TOKYO GOLDEN ALE」を開発しました。フルーティーなホップフレーバーとともに、甘味と苦味のバランスが良く、ドリンカビリティが高い味わいになっており、FC東京のフットボールスタイルでもある「+1 GOAL」に合い、「+1 BEER」をキーワードに、もう1杯飲みたくなるような味わいになっています。スタジアムでの販売だけでなく、都内飲食店への展開を行い、試合日以外にもFC東京オリジナルビールを楽しめ、都内の飲食店の活性化にも寄与しています。

## ふるさと納税 返礼品への出品

FC TOKYO GOLDEN ALEは、スタジアム販売、都内飲食店展開のほか、地域のイベント出店を行っています。さらに、2024年11月より、調布市のふるさと納税の返礼品として缶ビール展開を開始し、調布市の新たな魅力開発を進めるとともに、スタジアムという場所にとらわれない新しい楽しみ方を提案しております。



# AO-AKA STREET 青赤ストリート

## 第4回青赤ストリート開催

最終節となる12月8日(日)セレッソ大阪戦において、調布市との連携を行い飛田給駅から味の素スタジアムまでの「スタジアム通り」を歩行者専用道路とした「青赤ストリート」を開催しました。当日は、キッチンカーや調布市ブースの出店、選手のトークショーや東京ドロンパふわふわ等の設置を行って多くの方々に楽しんでいただきました。







# CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY

社会貢献活動

この度、FC東京では社会連携活動の軸となる、「FC TOKYO SOCIAL STATEMENT」を制定しました。今後はこのステートメントを基軸とし、多種多様な社会連携活動を展開していきます。

## FC TOKYO SOCIAL STATEMENT

わたしたちのくらしの未来につながるゴールを

もっと前向きなエネルギーがあふれる街に。  
もっとあたたかいサポートに包まれる街に。  
もっとクリーンな空気や自然に恵まれた街に。

誰もが住みやすく、生きがいに満ちた、より良い世の中を目指し、  
FC東京は社会のハブとなり、ファン・サポーター、地域・企業などたくさんの仲間と連携し、  
様々な活動を推進/サポートしていきます。

老若男女の健康づくりへのアシスト。地域コミュニティを活性化するアシスト。  
クリーンで美しい環境を守るためのアシスト。平和でフェアな社会を築くアシスト。  
サステイナブルな未来というゴールへ、あらゆる視点から考え挑み続けます。

愛する東京を、世界に誇れる街に。未来の世代に誇れる街に。  
FC東京は、あなたと共に躍動します。

# TOKYO SOCIAL COLLABORATION

## TSCとは

対話を通じ地域社会のさまざまな課題に向き合いアクションし、彩り豊かなコミュニティを築いていくことを目的に、「TOKYO SOCIAL COLLABORATION」がスタートしました。クラブの成長と共に人と人の繋がりを通じてフットボールクラブ以上の存在になるために、ホームタウンである東京に対して、社会的に貢献できる活動をして参ります。



## ゴミ拾い

TSCのメンバーが主体となって味の素スタジアムや国立競技場、小平グラウンドの周辺をはじめとし、渋谷区などの都心でも、たくさんの方々と連携し「ゴミ拾い」を実施しました。地域の方々やパートナー企業の社員のみならず、ボランティアスタッフなどたくさんの方々と連携した「ゴミ拾い」を通じてさらに繋がりが広がりを生んでいます。



## 府中刑務所とのコラボ

ジェネレーター会議で府中刑務所と再犯防止などの意見交換を実施。また、府中刑務所の受刑者のみなさまにてゴミ拾い用のオリジナルトングを作成頂きました。作成いただいたトングはFC東京での清掃活動に活用予定です。



## HEROsPLEDGE

TSCは「HEROsPLEDGE」に参画しています。ジェネレーター会議では世界のクラブとの取り組み事例を紹介いただくなど、環境への取り組みを学びました。スポーツ界を横断して「使い捨てプラスチックをゴミゼロ」に向けて、一人ひとりができることをPLEDGE(宣言)し、FC東京ファミリー全体で環境への取り組みを加速させます。



## アップサイクル販売

試合会場で使用された大型バナーをバッグにアップサイクルしました。使用後に廃棄処分されるだけだった課題をアップサイクルという、これまでになかった新しい手法で解決することにチャレンジしました。本取り組みでは、新たな価値を創出するだけでなく、環境課題に向き合いながら活動を継続していきます。

# COMMUNITY GENERATOR MESSAGE

CGメッセージ

## FC東京に関わるすべてのファミリーの幸せに向かって...

現役選手引退後の2018年から6年間務めていたクラブコミュニケーター。ホームタウンを中心に、様々な場所で、様々な手段で、多くのFC東京ファミリーとともにアクションする中で、クラブへの想いや地域・社会への想い、クラブとともに歩んできたストーリー... 会話・対話の中で、もっとクラブに、チームに、地域・社会に貢献したいという心強く温かなお声をいただいていた。そういった想いへの喜びと同時に、前向きでポジティブなエネルギーを共有しながらひとつにし、更に深め・広げ、共にアクションし、関わる方々の人生や地域・社会への希望となる存在(コミュニティ)を形成していきたいと感じました。コミュニティ(TOKYO SOCIAL COLLABORATION)での関係の質を、会話・対話・議論により高め、思考と行動の質を変え、結果につなげる。私たちのめざす結果とは、生きていく上でのワクワクや喜び、彩り豊かな人生をともに歩むこと。それまでの過程(ストーリー)をより大切にしながら... そんな世界を創り、彩っていくための旗振り役として、2024シーズンからコミュニティジェネレーターに就任いたしました。昨今の不確定・不確実なVUCAと言われる世界の中で、スポーツ・サッカー界にいるFC東京が、一筋の希望の光を見出すためのVEDAの必要・重要性を解き、TOKYO SOCIAL COLLABORATIONメンバーとともにVisionを描き・語り・学び・育て・重ね、アクションしていきたいと思っています。



# NO PLANET, NO TOKYO

## 「NO PLANET, NO TOKYO」の開催



今年も地球環境や社会・地域の課題解決をテーマにした「NO PLANET, NO TOKYO」を開催し、ワークショップやインクルーシブフットボール体験などの社会連携イベントを行いました。11月3日(日祝)湘南ベルマーレ戦では、リサイクル素材を利用したキッズTシャツの配布や、オフィシャルパートナー企業のみならず、SDGsの取り組み紹介、東京都の電力節約のブース出展なども実施しました。イベント当日の様子(試合中継も含む)は、地上波 テレビ東京「サタデーナイト」特別編」でも放映されました。

## フレッシュデルモンテ presents インクルーシブフットボール体験会

今年も年齢、性別、障がいの有無などに関係なく、誰もがいっしょにボールを蹴ることを楽しむ「まぜこぜのサッカー」を開催し、200名以上の方にご参加いただきました。お互いを思いやりながらボールを通じてふれあい、自然と笑顔が溢れるイベントになっています。



## NPO法人「love.futbol Japan」と協働した試合観戦招待を実施

今年も「love.futbol Japan」が応援する子どもたちとご家族を対象に、「NO PLANET, NO TOKYO」開催試合への招待を行いました。今回は10世帯27名のご家族に観戦を楽しんでいただきました。





# PLAYER DEVELOPMENT 育成活動

4度目の最優秀育成クラブ賞を受賞。Jリーグ最多受賞クラブとなりました。  
世界で活躍する選手の輩出をめざし、人間性豊かな人材の育成に努めています。

## ACADEMY PLAYERS FC東京アカデミー出身選手



## ACADEMY アカデミー紹介



- 高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ 2024 EAST 10位
- 高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2024東京1部 5位
- 第46回 日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 ベスト32



- 2024年度関東ユース(U-15)サッカーリーグ1部 10位
- 2024年度関東ユース(U-13)サッカーリーグ1部Bリーグ 4位
- 第39回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 ベスト32



- 2024年度関東ユース(U-15)サッカーリーグ2部Bリーグ 優勝
- 2024年度関東ユース(U-13)サッカーリーグ1部Aリーグ 3位
- 第39回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 ベスト4
- 高円宮杯 JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会 ベスト8

## NATIONAL TEAM 年代別日本代表



# SOCCER SCHOOL & GRASS ROOTS ACTIVITY 普及活動

老若男女・スポーツ経験問わず誰もが気軽にサッカー・フットサルにふれあえる機会を提供し、スポーツの魅力を広める活動を行っています。



### 1 サッカー・フットサルスクール

都内24箇所(スタッフ派遣校10校を含む)で行われている「サッカースクール・フットサルスクール」には、約4,500名の子どもたちが在籍しています。個人の技術・戦術面でのレベルアップはもちろん、あ・お・あ・か(挨拶・思いやり・諦めない・感謝)を合言葉に、自ら考え取り組む力や仲間と協力する力も育みます。

### 2 サッカーフェスティバル・サッカークリニック



東京ガス様、ジーク様にご協賛いただき開催しました。今年度も親子・小学生・女性・障がいのある方など様々な方を対象に、サッカーの楽しさや喜びに触れることのできる機会を提供しています。

### 3 スマイルキャラバン・キッズ巡回



教育委員会や東京都サッカー協会等と連携して、普及部コーチが学校や園を訪問し実施しました。サッカーだけでなく、自立心の成長が感じられる体験授業です。他にも子どもたちの夢や目標を考えてもらうきっかけとなるキャリア講話「夢授業」を開催しました。

### 4 あおあかドリル活用授業



学習指導要領に沿って子どもたちが楽しみながら身体を動かすことをコンセプトに制作した「あおあかドリル」をもとに、普及部コーチが小学校を訪問し体験授業を行いました。教育委員会と連携して教員向け活用研修も開催し、「あおあかドリル」をきっかけに子どもたちが運動に親しむ機会が増えるような取り組みを続けています。

### 5 障がい者向けスクール・クリニック



知的障がいのある子どもたちを対象に「あおぞらサッカースクール」や「あおぞらサッカークリニック」を開催しました。東京都内各所で定期的な活動も引き続き増やしていきます。

### 6 おとな・女性向けのサッカー・フットサル教室



大人を対象としたサッカー・フットサル教室や、女性が運動を気軽に始められる場として女性限定のサッカー・フットサル教室などを開催しました。またスクールでもガールズ・レディースクラスを設けています。年齢や性別を問わずたくさんの方との出会い・交流の場となりました。

### 7 スクールイベント



FC東京サッカー・フットサルスクールでは、海外クラブやJリーグクラブとのスクール交流戦を実施しました。Jリーグクラブならではの機会を提供しています。

### 8 指導者講習会



指導者のみなさまや保護者の方を対象にした講習会を開催しました。大人にできることを見つめなおす機会として、子どもたちが安心していきいきと成長できるような環境づくりに寄与しています。

### 9 FC東京パーク府中



FC東京が運営するフットサル施設。スクール活動や様々なスポーツイベントを開催し、老若男女、障がいのある有無を問わず、多くの方にご来場いただいています。

### 10 指定管理者としての活動



FC東京は指定管理者やその協力企業として複数の公共体育施設の運営に携わり(施設詳細は6ページ)、幼児〜成人、障がいのある方など多様な方を対象に仲間と一緒に体を動かす楽しさを伝え、スポーツの普及活動に継続的に取り組んでいます。また地域への講師派遣や教育機関、イベント協力など施設を超えた活動も行っています。



# 2024 SEASON DATA

## 2024シーズンデータ

クラブ史上最多となるスタジアム来場者のみなさまの  
声援を受けて戦いましたが、タイトル獲得には届かず、  
2025シーズンの巻き返しを図ります。

### 2024 順位・戦績

#### ▶ 2024明治安田J1リーグ

順位	クラブ名	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差
1	ヴィッセル神戸	72	21	9	8	61	36	25
2	サンフレッチェ広島	68	19	11	8	72	43	29
3	FC町田ゼルビア	66	19	9	10	54	34	20
4	ガンバ大阪	66	18	12	8	49	35	14
5	鹿島アントラーズ	65	18	11	9	60	41	19
6	東京ヴェルディ	56	14	14	10	51	51	0
7	FC東京	54	15	9	14	53	51	2
8	川崎フロンターレ	52	13	13	12	66	57	9
9	横浜F・マリノス	52	15	7	16	61	62	-1
10	セレッソ大阪	52	13	13	12	43	48	-5
11	名古屋グランパス	50	15	5	18	44	47	-3
12	アビスパ福岡	50	12	14	12	33	38	-5
13	浦和レッズ	48	12	12	14	49	45	4
14	京都サンガF.C.	47	12	11	15	43	55	-12
15	湘南ベルマーレ	45	12	9	17	53	58	-5
16	アルビレックス新潟	42	10	12	16	44	59	-15
17	柏レイソル	41	9	14	15	39	51	-12
18	ジュビロ磐田	38	10	8	20	47	68	-21
19	北海道コンサドーレ札幌	37	9	10	19	43	66	-23
20	サガン鳥栖	35	10	5	23	48	68	-20

ACL出場チーム J2降格枠

#### ▶ 2024JリーグYBCルヴァンカップ 1st ラウンド

2024年 4月17日(水) 2回戦 ニッパツ FC東京 4-0 Y.S.C.C.横浜

2024年 5月22日(水) 3回戦 駅スタ FC東京 1-1 サガン鳥栖 (5 PK 4)

#### プレーオフ ラウンド

2024年 6月5日(水) 第1戦 味スタ FC東京 1-2 サンフレッチェ広島

2024年 6月9日(日) 第2戦 Eピース FC東京 1-3 サンフレッチェ広島

#### ▶ 天皇杯 JFA 第104回全日本サッカー選手権大会

2024年 6月12日(水) 2回戦 味スタ FC東京 3-0 ヴィアティン三重

2024年 7月10日(水) 3回戦 フクアリ FC東京 1-2 ジェフユナイテッド千葉

### ファン指標

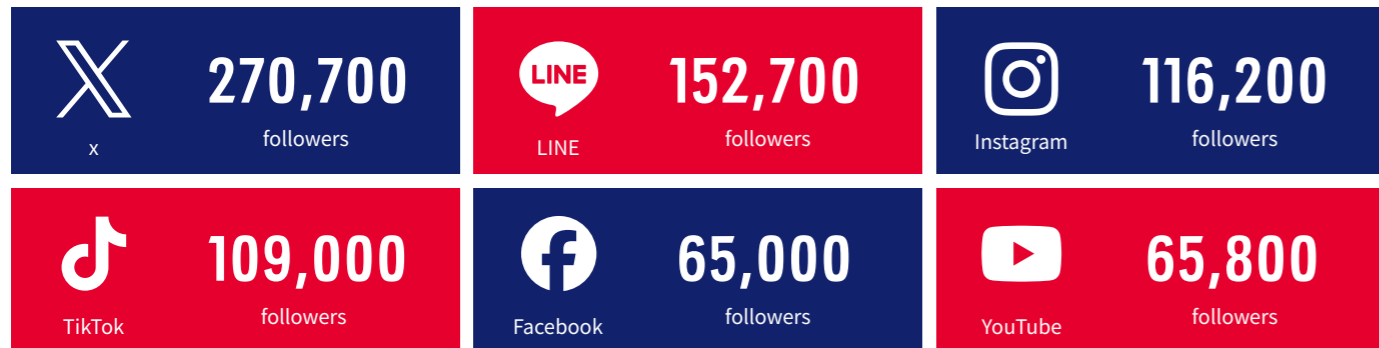
#### ● JリーグID(無料会員)登録者数



#### ● 2024Jリーグ平均入場者数



#### ● SNS フォロワー数



※2025年1月時点

# OFFICIAL PARTNER

## オフィシャルパートナー

2024シーズンは88社のオフィシャルパートナー企業のみならず、  
ともに、スタジアム内外でのさまざまな活動を通してお互いの価値  
向上を図ってまいりました。

### 2024オフィシャルパートナー 一覧

今シーズンより、スポンサー呼称を『クラブスポンサー』から『オフィシャルパートナー』へと変更  
いたしました。これまでよりもさらにパートナーシップを強化し、ビジネス相互拡大を目指します。



### パートナー活動事例

企業様のパートナーシップ活用事例の一部をご紹介します。これらの事例は、各パートナー企業様の様々なニーズ  
にお応えするために特別にカスタムメイドをしてご提案させていただきました。これからも企業様との協力を通じて、  
効果的なパートナーシップ活用を実現してまいります。



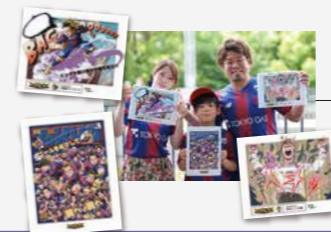
事例詳細はこちら



**事例-1**  
京王電鉄 様  
プロモーションへの選手起用  
車内マナーの啓発のため選手を起用したポスター  
を制作し、京王線の各駅に掲出いただきました



**事例-3**  
企業同士の交流場創出  
パートナー企業様の  
ビジネスネットワーキングの拡大  
重要顧客のご接待やクラブパートナーという共通  
項を持つ企業のみならずの交流の場として多くの  
企業様に活用いただきました



**事例-2**  
アムタス(めちゃコミック) 様  
自社サービスのファンマーケティング貢献  
クラブマスコットやその他クラブプロパティを活用  
したタイアップ企画を実施し、自社公式Xにてプレ  
ゼントキャンペーンなどを展開いただきました



**事例-4**  
帝人フロンティア 様  
ペットボトルのリサイクルプロジェクト  
味の素スタジアム内に資源分別回収ボックスを設  
置し、リサイクルのために使用済みペットボトルの分  
別回収を進めました

### パートナーの考え方

2024シーズンも、パートナー企業が持つ課題や目的を深く理解し、それに応じてパートナーシップをご活用いただくことを重視して  
まいりました。結果として、各企業のニーズに合わせてカスタマイズされたソリューションを提供し、単なるパートナーシップ締結を超  
えた価値を生み出すことができたと考えております。

